令和６年度入学志願者用

さいたま市

学校概要説明資料

併設型中高一貫教育校

さいたま市立浦和中学校

バランスのとれた人間形成

社会の中で生きていく力をはぐくみます

教育理念

市立浦和中学校では「学ぶ喜び」「知的探究心」を大切にします。

人は物事を理解し納得する、いわゆる分かった瞬間に「学ぶ喜び」を味わうことができます。先生や友達・先輩と共に触れ合い、学び合いながら心に浮かんだ「なぜだろう」を探究し、学ぶ喜びの味わえる「楽しい授業」を行います。

市立浦和中学校には「大切な時代を共有する仲間」がいます。

情報リテラシーの学習をはじめ、教室や様々な体験学習の中でのコミュニケーションを積み重ねます。こうしたお互いに知識を交換・共有し合う活動を通して、切磋琢磨しながら共に成長していける仲間づくりを行います。

市立浦和中学校では「豊かな感性」をはぐくみます。

各教科をはじめ、伝統文化を取り入れた教育活動や道徳教育などを中心とした情操教育を進める中で、自分の感情を認識し制御でき、相手を意識してひとの痛みの分かるよりよい人間関係を深めていくことによって「豊かな心」をはぐくみます。

市立浦和中学校では生涯学習の基盤をつくり「自己実現」を目指します。

各教科の学習、あるいは学校行事や総合的な学習の時間の中で主体的・積極的に考え判断できる力を高め、将来、国際社会で活躍できる素地を養い、一人ひとりが個々の目標を実現しようとする意志をもてるようにします。

Ⅰ　確かな教育理念に基づき６年間の一貫教育を進めます

１　学校づくりの視点

- さいたま市民の期待に応える学校
- 確かな創造性と主体性をもった社会に貢献できるリーダーをはぐくむ学校
- 文武両道の精神が息づく特色ある教育活動を行う学校
- 高い目標をもって一人ひとりの進路希望が実現できる学校

２　学校の教育目標

高い知性と豊かな感性・表現力を備えた国際社会に貢献できる生徒の育成

知性
６年間の一貫した教育活動を展開し、高い知性と豊かな教養を身に付けさせる。

創造
高い志をもち、人間性豊かな創造性あふれる人材を育成する。

活力
豊かな感性・表現力を備え、国際社会に貢献できる活力のある人間を育成する。

３　育てたい生徒像

⑴ 基礎学力に裏付けられた応用力をもつ、個性ある人材
⑵ 体験活動で培った奉仕する心をもつ、心豊かでたくましい人材
⑶ 国際感覚をもち、グローバルな視野で物事を考えることができる人材
⑷ 日本の伝統と文化を愛し、日本語を大切にする人材

４　目指す学校像

中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する

⑴体系的な教養教育を行う学校
６年間を体系化した教育課程により、基礎・基本の徹底的な指導を行い、高い知性を養うとともに、調和のとれた教養教育を展開することにより、豊かな人間性や社会性、規範意識を涵養する。

⑵豊かな国際性をはぐくむ学校
国際化が年々進む政令指定都市さいたま市の現状を踏まえ、日本の伝統と文化に親しむ学習を重視するとともに、国際教育を充実し、グローバルな視野を磨き国際感覚を豊かにする。

⑶一人ひとりの夢や願いを実現する学校
計画的・継続的なキャリア教育により、将来の在り方や生き方を考えさせ、高い志を抱かせ、生徒一人ひとりの興味・関心や能力・適性に応じた進路希望を実現する。

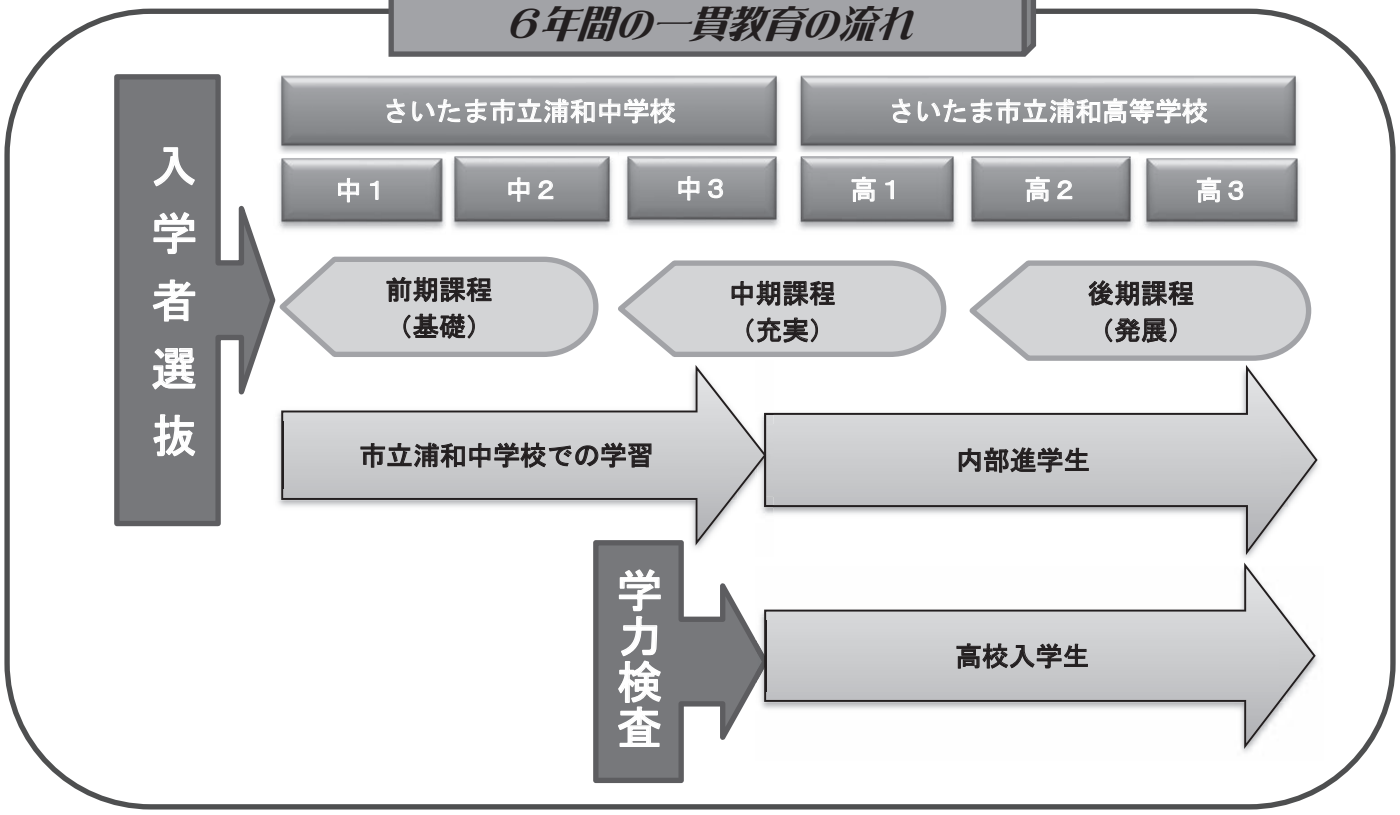
⑷中高の一貫性を重視する学校
併設型の中高一貫教育校として、中学校と高等学校とが緊密な連携の下に一体的な学校運営を行い、学校の教育目標の具現化に努める。

⑸生徒相互が豊かに交流し、活力あふれる学校
学校行事や生徒会活動など異年齢集団による様々な活動を通して、感性豊かな社会性を培う。

⑹自己点検・自己評価を大切にする学校
教職員が研鑽を積むとともに、教育活動その他の学校運営の状況について、自己点検・自己評価を励行し、謙虚な態度で教育活動の工夫・改善を図り、教育力の向上を図る。

Ⅱ　６年間を見通した体系的な学習活動を展開します

６年間の一貫教育の流れ



令和６年度週単位授業時間一覧表

週時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34

前期課程（基礎） Challenge（挑戦）	中1	国語（4）				数学（4）			社会（3）			理科（3）			音楽	美術	保体（3）			技家（2）		G･S（4.5）※GCO(0.5)含む				Morning Skill up Unit（3）			総合（1.5）		道徳	特活	
	中2	国語（4）				数学（4）			社会（3）			理科（4）			音楽	美術	保体（3）			技家（2）		G･S（4.5）※GCI(1)及びGCO(0.5)含む			MSU	☆学設			総合（1.5）		道徳	特活	

☆学校設定科目（学設）…思考力・表現力を高め、高校へのつなぎ学習　【2年】：探究数学１単位時間　【3年】：国語１単位時間　数学２単位時間　英語１単位時間

中期課程（充実） Innovation（変革）	中3	国語（3）			数学（3）			社会（4）				理科（4）			音楽	美術	保体（3）			技家	G･S（4.5）※GCO(0.5)含む				☆学設 国(1)数(2) 英GCI(1)			総合（1.5）		道徳	特活		
	高1	現代の国語	言語文化		数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	地理総合		歴史総合		物理基礎		生物基礎		芸術Ⅰ	体育			保健	英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ								HR	総合探究

後期課程（発展） Advance（躍進）	高2	論理国語	古典探究		数学Ⅱ			数学B	日本史探究／世界史探究		公共	化学基礎／地学基礎		芸術Ⅱ	体育		保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		家庭基礎	HR	総合探究										
		論理国語	古典探究	数学Ⅱ		数学Ⅲ	数学B		公共	物理/生物			化学基礎																					
	高3	国語論理		古典探究	芸術Ⅲ／数学理解	日本史論究／世界史論究				地理探究／倫理政経		数学C／英語理解	文学国語／物質生命科学／地球生命科学		体育			英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ		情報Ⅰ	HR	総合探究										
		論理国語	古典探究	地理探究／倫理政経		数学Ⅲ		数学C		物理生物			化学																					

※中学校全学年のG･Sは、「グローバル・スタディ」（英語）を示しています。 ※GCOは"Global Communication Output"を、GCIは"Global Communication Input"を示しています。
※この表では、中学校全学年の総合的な学習の時間には、「STEAMS TIME」が含まれています。
※中学校第1学年の総合的な学習の時間に、「潤いの時間（人間関係プログラム）」が含まれています。
※中学校第1学年の音楽には歌舞伎鑑賞教室、美術には写生会が含まれています。
※高校第1学年～第3学年については、令和4年度高校進学者の教育活動を表記しています。
※「学習指導要領」改訂、教育課程の変更等に伴い、今後変更する可能性があります。

知性

特色ある教育活動
基礎学力と応用力を兼備した個性ある人材の育成を目指す取組

1　年間総授業時数の拡充

・週 32 単位時間の授業を展開

2　独自の教育活動「Morning Skill up Unit」の展開

(1) 第１時限目の日課に位置付けて実施

(2) 国語・数学・英語の学習内容を中心に展開

(3) 一人１台のタブレット型のコンピュータを活用し、国・数・英を中心とした基礎学力の向上と豊かな教養の育成

■第１学年の時間割例

	月	火	水	木	金	土
1	総／ＧＣＯ	ＭＳＵ	ＭＳＵ	保体	ＭＳＵ	年間１２回の土曜授業（予定）
2	理科	Ｇ・Ｓ／数	数／Ｇ・Ｓ	理科	数／Ｇ・Ｓ	
3	保体	美術	歴史	数／Ｇ・Ｓ	音楽	
4	Ｇ・Ｓ／数	理科	Ｇ・Ｓ／数	国語	保体	
	給食					
5	国語	社会	技・家	社会	道徳	
6	数／Ｇ・Ｓ	国語	技・家	Ｇ・Ｓ／数	国語	
7	学活					

※数学と「グローバル・スタディ」（Ｇ・Ｓ）については、１クラス２展開の少人数指導を実施。

※ＭＳＵ…”Morning Skill up Unit”（国語・数学・英語）

※ＧＣＯ…”Global Communication Output”（Speaking 及び writing に特化した、より自然な英語と論理的思考力を身に付けるための、ネイティブ教員による授業。）

◇8 :40～9 :00 （20 分間） Japanese Plus の学習

ねらい：全ての学習の基礎となる「国語力」の育成

活動例：短作文、暗唱、書写、漢字書き取りなどに取り組み、基礎・基本を徹底する学習

◇9 :00～9 :20 （20 分間） Mathematics Drill の学習

ねらい：日常生活に結び付いた数学的リテラシーの向上

活動例：四則計算や式の変形といった基礎的な学習や、数量や図形に対する感覚を豊かにする学習

◇9 :20～9 :40 （20 分間） English Communication の学習

ねらい：英語でのコミュニケーション能力の育成

活動例：日常会話やスピーチなどの生きた英語を聞く活動、洋書を使った多読活動、英語教師との英語によるインタビュー活動や音読活動など、バリエーションに富んだ学習

3　土曜授業の実施

・隔週土曜日を中心に、年間１２回の３時間授業（４時間の場合もあり。）を行います。

・第４時限目には、異学年交流の「学び合い・教え合い」の時間を設定し、基礎学力の定着や学習方法の習得を図る予定です。

・例年毎回保護者に授業公開を行うとともに、年に７回の一般公開（予定）を行います。

4　夏期講習の実施

・夏季休業中（７月下旬)、国語、社会、数学、理科、G･S、保健体育、音楽などを実施する予定です。

・内容は復習を中心に基礎・基本の学習を重点的に、発展的内容も取り扱い、参加は希望制です。

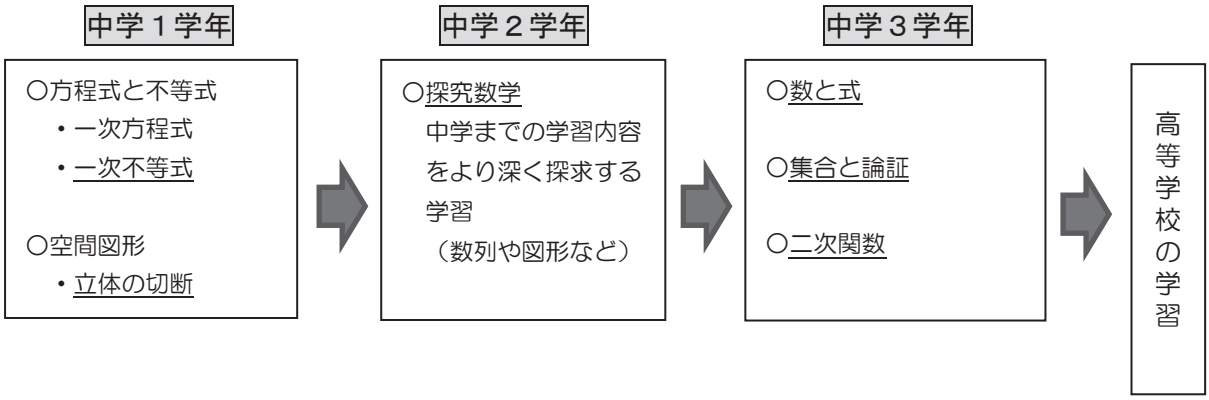
・講習時は、部活動よりも講習参加を優先とします。

５　発展的な学習内容を積極的に取り入れた指導

(1) 各教科の年間指導計画に、高等学校へのつなぎ学習（高等学校教諭が授業を担当）を取り入れるなど、中高の一貫性を重視した系統的な指導の展開

生徒の実態や興味・関心に応じて、より発展的な学習内容や一部高等学校の学習内容を取り入れます。

(2) 数学の例　※下線部が、高等学校の学習内容



６　海外フィールドワークの実施　（オーストラリア連邦国・ブリスベン市）

(1) 基本方針

中学校の英語学習の集大成として、学んだ英語力を活かして、現地校の授業や行事に参加します。

(2) ねらい（目的）

①現地校の生徒や外国の人々と、英語によるコミュニケーションを楽しみ英語学習への興味・関心を一層高めます。

②中学３年間で身に付けた英語を活用し、積極的に意見交換を行う活動を通して、豊かな感性や表現力を伸ばします。

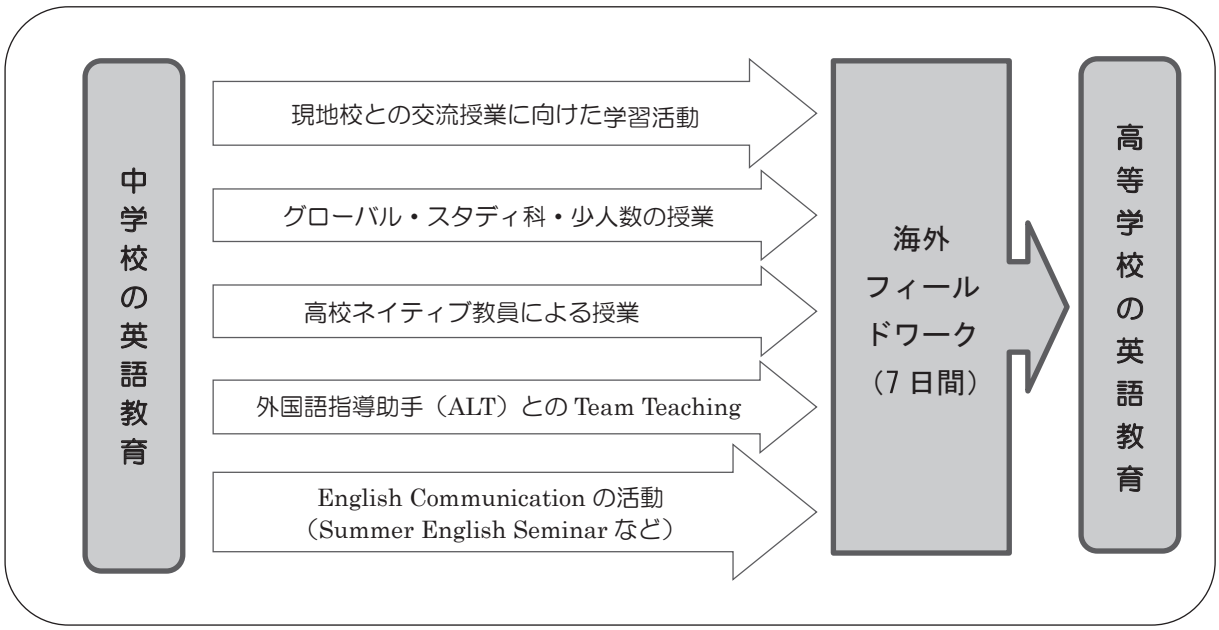
③豊かな交流体験を通して国際感覚を磨き、グローバルな視野で物事に取り組める資質や能力をはぐくみます。

④国際社会で活躍しようとする意欲を高めるとともに、海外の国々に対する理解を深め、日本の伝統と文化を愛する姿勢を育成します。

(3) 実施時期及び期間

中学校第３学年３学期（２月を予定）の７日間

(4) ３年間を見通した総合的なプログラムを展開



創造

特色ある教育活動
コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を伸ばす取組

1　少人数による指導の展開

（1）日常的な少人数指導

数学とG･S(英語)については、日常的に少人数による指導を実施し、コミュニケーションを図る取組やプレゼンテーションの機会を確保します。

（2）必要に応じた少人数による指導

数学やG･S(英語)以外の教科等では、学習内容に応じて積極的に少人数による指導を取り入れます。

2　自分の言葉で表現する活動の充実

（1）教科での取組

国語では､討論､スピーチ､ディベート、パネルディスカッションなどの学習を計画的に取り入れます。社会科では、３分間スピーチ、ロールプレイ、ディベートにチャレンジします。また、G･S（英語）では、校内での中高合同 Recitation Speech Contest を実施します。これらの学習を通して、自分の言葉で豊かな表現ができるようにしていきます。

（2）総合的な学習の時間などの学習での取組

学習の成果やレポートなど、他の生徒や保護者などに伝える活動を積極的に設定します。

3　伝統文化を取り入れた教育活動の展開

（1）教科での取組

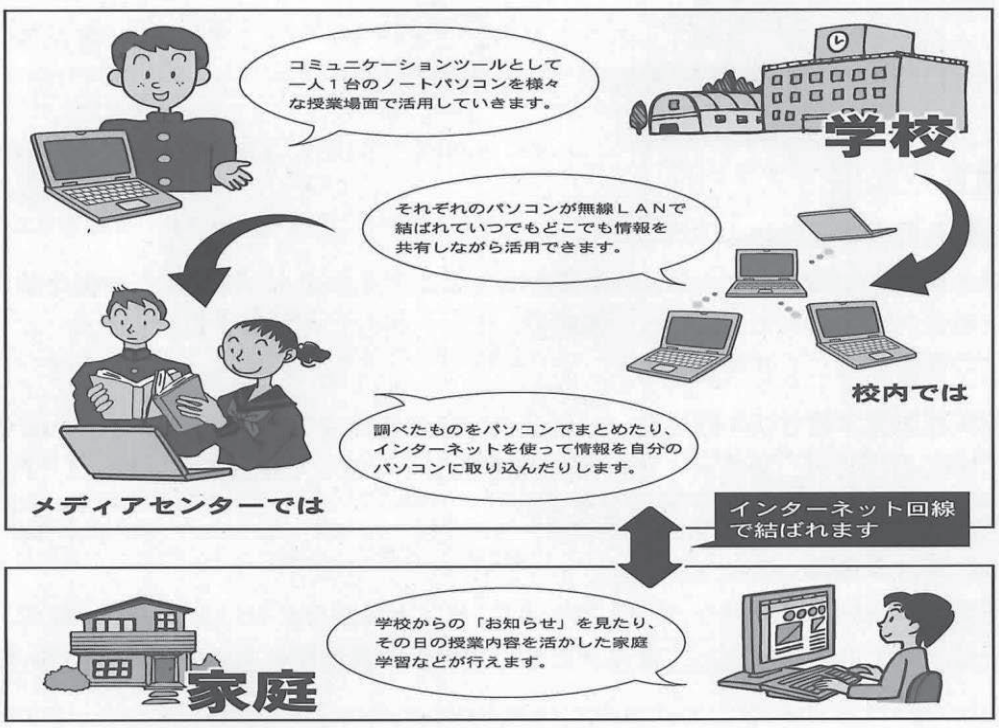
音楽では、郷土の伝統芸能（和太鼓・箏）などの学習を取り上げるとともに、歌舞伎鑑賞などの機会を計画的に取り入れます。

（2）特別活動の時間等での取組

芸術鑑賞を通して伝統文化の理解に努めます。

4　ICT（Infromation and Communication Technology）教育の充実

情報リテラシーの育成を目指し、優れたマルチメディア・ネットワーク環境の下で学習を進めます。



活力

特色ある教育活動

目的意識を醸成し、豊かな人間性と社会性を育む取組

1　中高生による豊かな交流の機会を設定

(1) 進路学習等での交流

中高生が一緒に学ぶ機会を積極的に取り入れます。夏期講習では、高校生が学習サポートにボランティア参加してくれます。

進路学習の一環として、高校生をピアアドバイザーとして招き、座談会を行います。

(2) 学校行事での交流

体育祭、文化祭、ロードレース大会など、中高生が力を合わせて学校行事に取り組みます。

なお、舘岩自然の教室やサマー・イングリッシュ・セミナー（Summer English Seminar）など中学生だけの行事も行います。

(3) 部活動での交流

一部の部活動では高等学校の部活動との合同活動を通して、基礎から応用、実技、実戦までの一貫した活動の機会を設けます。高校生と一緒に活動する中で、望ましい人間関係を育んでいきます。

【令和５年度に部員募集を行った部活動】

＜運動部＞・剣道部（男女）・サッカー部（男女）・バドミントン部（男女）
・ハンドボール部（男）・バスケットボール部（男女）
・弓道部（女）・硬式テニス部（男女）・陸上競技部（男女）
・空手道部（男女）
＜文化部＞・美術部　・サイエンス部　・吹奏楽部　・書道部

2　学びを生かす様々な体験活動

(1) 学校外の教育施設を活用した学習

博物館、科学館などの教育施設を訪れ、教室で学んだ事柄を確かな教養として身に付ける機会を計画的に取り入れます。

(2) 外部指導者等を招聘した学習

地域の人々や専門分野で活躍する人々をゲストティーチャーとして招いて、教科等で学んだ事柄をさらに個々に探究していく機会を計画的に取り入れます。

3　道徳教育の充実

(1) 生活体験を充実するための環境づくり

共に学ぶ楽しさを味わうとともに、規律ある生活ができるよう、校内緑化や電子情報ボードによる校内掲示など特色ある掲示教育、あいさつ運動や、工夫を凝らした活動を通して、互いに信頼し合い、思いやりの心がもてる学習環境づくりを進めます。

(2) 道徳的実践を促す豊かな体験活動

道徳の時間をはじめ、各教科、諸行事、部活動などを通して、互いに励まし認め合い、計画的にものごとをやり抜く力を育てていきます。

(3) 家庭・地域との連携

地域でのボランティア活動、学校・学年だより、ＰＴＡ活動などをはじめ、家庭との連携を通して、社会の一員としての自覚をもち、権利を正しく主張し、義務をきちんと遂行する態度をはぐくみます。

各教科の取組

国語

○中学校では、国語の基礎・基本の確実な習得の上に、高校へのつなぎを計画的・継続的に取り入れます。
○中高一貫して、多くの文学的文章や説明的文章等を取り上げ、読解力を高めるとともに、読書習慣の定着を図り、高度な文学作品まで広げます。
○古典教材に幅広く親しみ、古文や漢文を理解する力を養い、日本の文化や伝統について関心を深め、６年間で豊かな文学的素地を培います。
○演習を適宜実施し、既習の学習内容の確認と定着を図り、応用力を高めます。

数学

○式の計算、方程式と不等式、関数、確率など、中学校段階で高校の学習内容の一部を取り入れながら、中学校から高校まで系統的に学習が進められるようにします。
○学習内容を繰り返して学べるように配列し、確認と復習を通してより確かな学力を定着できるようにします。
○中学校では、少人数指導を展開し、生徒一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導を行います。
○発展的な学習を取り入れ、学んでいることがどのような場面でどのように使われているのかを明確にし、学習内容をより深く理解できるようにします。

G・S

○６年間を見通し、ゆとりのある教育活動により基礎・基本の確実な定着を図ります。また、少人数によるきめ細かな指導を展開していきます。
○４技能（Speaking, Listening, Reading, Writing）の向上を目指して、独自の活動（Morning Skill up Unit）や ALT の活用により、実際の場面で使えるコミュニケーション能力の育成に重点を置きます。
○海外での研修等を通して、異文化や語学への関心・理解を深め、高い国際性を養います。
※Ｇ・Ｓ＝グローバル・スタディ科（英語）

社会

○地域の歴史や伝統・文化に触れる機会を数多く設定し、さいたま市の中高一貫教育にふさわしい地域に根ざした社会科教育を展開します。
○ディベートやスピーチを取り入れ、一人ひとりが国際社会に通用するための論理的思考力及び表現力を育てます。
○６年間を見通し発達段階に応じて課題解決学習や発展学習を計画的に設定し、社会的事象を多面的に、多角的に考察する公民的資質の基礎を養います。

理科

○実験、観察などを積極的に取り入れ、探究的な学習活動を展開し、科学的な思考力を伸ばしていきます。
○中学校の学習内容に高校の学習内容の一部を取り入れ、６年間を見通した学習活動に取り組みます。
○体験的な学習（博物館での実習、プラネタリウム学習等）などで実物に触れながら、生徒一人ひとりの興味・関心を高め、個に応じた学習を行います。

音楽

○本物の芸術に触れ、豊かな感性を育てます。
○少人数による質の高いアンサンブル活動を通し、音楽の基礎的な能力を伸ばします。
○歌声の響く学校にします。
○幅広い体験活動を通して、音楽を愛好する心情を育てます。

美術

○基礎的・基本的な学習をバランスよく配列し、専門的な学習へと発展させます。
○多様な素材体験を通して、美術を愛好する心情を育てます。
○校内を中心としたギャラリーの充実を図ります。

保健体育

○体力の向上を図り、高校生と共に行う体育的行事に参加し交流を深めます。
○６年間を見通して、学習する領域・種目を系統的に配列し、楽しみながら基礎・基本が確実に身に付くようにします。
○用具や ICT 機器が充実しており、生徒が意欲的に取り組める環境が整っています。

技術・家庭

○次世代の産業や生活の基礎となる家庭をつくりあげる生徒の育成を目指します。
○体験重視の学習を行います。
○「子育てや家庭」「ものづくり」の学習を通して、人とかかわる力を育みます。
○ものづくり、人づくり、夢づくりを進めます。

Ⅲ　魅力ある学校生活を提供します

１　中学生の日課

学校給食

自校方式の完全給食を実施しています。給食費は、月額5,130円（令和５年度）です。

通学の方法

生徒の登下校時の安全を第一に考え、徒歩・公共交通機関による通学を原則としています。
（ただし、それによって生徒の安全性が損なわれる恐れがあると認められる等の場合、自転車による通学を許可することがあります。）

浦和中学校日課表

（月曜日～金曜日）

時　限	時　間
出席確認（朝の会）	8:20 8:30
MSU	8:40～ 9:40
1時限	8:50～ 9:40
2時限	9:50～10:40
3時限	10:50～11:40
4時限	11:50～12:40
昼食 昼休み	12:40～ 13:25
5時限	13:25～14:15
6時限	14:25～15:15
清掃	15:20～15:40
帰りの会	15:40～15:50
（月曜日のみ）	
7時限	15:25～16:15
帰りの会	16:20～16:30

（土　曜　日）

時　限	時　間
出席確認（朝の会）	8:20
1時限	8:30～ 9:20
2時限	9:30～10:20
3時限	10:30～11:20
4時限（帰りの会）	11:30～12:20

下　校　時　刻

期　間	時　間
4月1日～ 9月30日	18:00
10月1日～10月31日	17:30
11月1日～ 1月31日　17:00 この期間、月曜日部活動なし	
2月1日～ 3月31日	17:30

※本校は中高ともノーチャイムです。

２　学期と長期休業日

(1) **学期**　３学期制により学習を進めます。

◆１学期：４月１日から７月 31 日　◆２学期：８月１日から 12 月 31 日　◆３学期：１月１日から３月 31 日

(2) **長期休業**　長期休業日は、原則次のようになります。（令和５年度）

◆春季休業日：４月１日～４月９日　　◆夏季休業日：７月 22 日～８月 28 日

◆冬季休業日：12 月 23 日～翌年１月８日　　◆学年末休業日：３月 27 日～３月 31 日

３　学校指定の持ち物等

(1) **制服**

男女とも、市立浦和高等学校で指定されている制服と同型となります。ただし、男子は、中学生が金色のボタン、高校生が銀色のボタンです。女子は、中学生が緑ライン、高校生は紺ラインが基調となります。夏服や冬服を併せて、男子が55,000円程度（令和５年度）、女子が65,000円程度（令和５年度）です。

(2) **通学鞄**

日常の通学時に使用します。電車やバスなどの公共交通機関を利用した通学に便利でロッカー室にも収納しやすい３ＷＡＹ鞄（手提げ、肩掛け、リュック式に持つ形式の鞄）を指定します。8,440 円程度（令和５年度）です。

(3) **上履き**

安全で清潔な学校生活を送るために、丈夫で動きやすいシューズを指定します。中学生と高校生とが区別できるようなデザインや色です。1,700 円（令和５年度）です。

(4) **体育着・ジャージ**

体育の授業や体育的な行事で使用します。市立浦和高等学校で指定されている形や素材を基調に、中学生と高校生とが区別できるようなデザインと色です。体育着・ハーフパンツと併せて、15,000 円程度（令和５年度）です。

(5) **体育館履き**

体育館での運動を安全に行うため、体育館専用シューズを指定します。3,400 円（令和５年度）です。

※通学靴について

通学靴は、屋外の体育の授業や学校行事等で安全に活用できる紐付きの運動靴とします。体型や通学方法等に合わせて、各家庭で選定してください。

4　主な学校行事の紹介　（令和５年度の計画）

定期テストの１週間前は“Let's Study Week”として放課後に質問会や学習会を開催します。

英語による豊かなコミュニケーション力の育成に取り組みます。

中高生が力を合わせて、体育祭や文化祭を盛り上げます。

	中学校			高等学校		
	前期課程（Challenge・挑戦）		中期課程（Innovation・変革）		後期課程（Advance・躍進）	
	１年	２年	３年	１年	２年	３年
４月	・入学式　・保護者会 ・新入生歓迎会 ・健康診断 ・学力推移調査①	・保護者会 ・新入生歓迎会 ・健康診断 ・学力推移調査①	・保護者会 ・新入生歓迎会 ・全国学力調査 ・健康診断 ・学力推移調査①	・入学式 ・一斉テスト ・二者面談 ・健康診断 ・生徒会立会演説会	・一斉テスト ・二者面談 ・健康診断 ・生徒会立会演説会	・一斉テスト ・二者面談 ・健康診断 ・生徒会立会演説会
５月	・部活動保護者会 ・中間テスト ・英語 Recitation Contest ・体育祭	・部活動保護者会 ・中間テスト ・管弦楽鑑賞教室 ・英語 Recitation Contest ・体育祭	・部活動保護者会 ・中間テスト ・英語 Recitation Contest ・体育祭	・実力テスト ・中間考査 ・英語 Recitation Contest ・体育祭	・実力テスト ・中間考査 ・英語 Recitation Contest ・体育祭	・実力テスト ・中間考査 ・英語 Recitation Contest ・体育祭
６月	・中学校総合体育大会 ・カウンセリングウィーク	・中学校総合体育大会 ・カウンセリングウィーク	・中学校総合体育大会 ・カウンセリングウィーク			
７月	・期末テスト ・南郷自然の教室 ・球技会 ・保護者会 ・夏期講習 ・カウンセリングウイーク	・期末テスト ・球技会 ・保護者会 ・夏期講習 ・カウンセリングウイーク	・期末テスト ・球技会 ・保護者会 ・夏期講習 ・カウンセリングウイーク	・期末考査 ・球技大会 ・夏期講習Ⅰ	・期末考査 ・球技大会 ・夏期講習Ⅰ	・三者面談 ・期末考査 ・球技大会 ・夏期講習Ⅰ
８月	・Summer English Seminar ・課題テスト ・身体計測	・Summer English Seminar ・課題テスト ・身体計測	・Summer English Seminar ・課題テスト ・身体計測	・夏期講習Ⅱ	・夏期講習Ⅱ	・夏期講習Ⅱ
９月	・文化祭 ・学力推移調査② ・人権教育講演会 ・写生会	・文化祭 ・学力推移調査② ・人権教育講演会	・文化祭 ・学力推移調査② ・市学力検査 ・人権教育講演会	・一斉テスト ・文化祭 ・生徒会立会演説会 ・人権教育講演会	・一斉テスト ・文化祭 ・生徒会立会演説会 ・人権教育講演会	・一斉テスト ・文化祭 ・生徒会立会演説会 ・人権教育講演会
10月	・中学校新人体育大会 ・生徒会立会演説会 ・中間テスト	・中学校新人体育大会 ・生徒会立会演説会 ・中間テスト	・生徒会立会演説会 ・中間テスト ・プラネタリウム教室	・中間考査 ・三者面談	・中間考査 ・三者面談	・中間考査
11月	・カウンセリングウィーク（三者面談） ・期末テスト	・科学館実習 ・カウンセリングウィーク（三者面談） ・期末テスト	・市学力検査 ・カウンセリングウィーク（三者面談） ・期末テスト	・宿泊研修 ・実力テスト	・実力テスト ・海外修学旅行	・実力テスト ・三者面談
12月	・博物館実習 ・球技会 ・保護者会	・球技会 ・保護者会 ・修学旅行	・球技会 ・保護者会	・期末考査	・期末考査	・期末考査
１月	・市学力学習状況調査 ・身体計測	・市学力学習状況調査 ・身体計測	・市学力検査 ・身体計測	・一斉テスト	・一斉テスト	・大学入学共通テスト ・二者面談
２月	・ロードレース大会 ・学年末試験	・ロードレース大会 ・学年末試験	・ロードレース大会 ・海外フィールドワーク ・学年末試験	・ロードレース大会	・ロードレース大会	
３月	・球技会 ・保護者会 ・三年生を送る会	・球技会　・保護者会 ・３年未来くるワーク ・三年生を送る会	・三年生を送る会 ・卒業式	・学年末考査 ・球技大会	・学年末考査 ・球技大会	・卒業式
他				・米国リッチモンドとの交換プログラム		

中学校の英語学習の集大成として、学んだ英語力を活かし、オーストラリアの現地校の授業や行事に参加します。

埼玉スタジアム２００２の周辺を走ります。

シンガポール・マレーシアに行きます。現地高校生との交流を含め、活力あるアジアを知り、国際社会に生きる基礎をつくります。

Ⅳ　厳正な入学者選抜を行います

１　入学者の募集定員　　80 名（内訳は男子 40 名・女子 40 名）

２　通学区域　　さいたま市全域

３　入学者選抜の流れ　※今後変更する可能性があります。「令和６年度生徒募集要項」をご確認ください。

①　生徒募集要項・入学願書等の配付

＜配付期間＞
○令和５年１０月２８日（土）　9:00～12:00
○令和５年１０月３０日（月）～１２月２２日（金）
（土、日、祝日、県民の日を除く9:00～12:00、13:30～16:30）
＜配付場所＞　市立浦和中学校・高等学校　事務室
※原則として郵送等での配付はしません。

②志願資格の事前審査

※志願資格の事前審査が必要となる場合には、「令和６年度生徒募集要項」を確認してください。
＜期間＞
令和５年１１月１７日（金）
～令和５年１２月５日（火）
（土、日、祝日を除く 9:00～12:00，13:00～17:00）
＜場所＞
さいたま市教育委員会学校教育部高校教育課
さいたま市浦和区常盤６－４－４
（さいたま市役所 第二別館１階）
電話　０４８－８２９－１６７１

③入学願書の受付

「令和６年度生徒募集要項」をご確認ください。

④第１次選抜

＜内容＞　全志願者に適性検査Ⅰ・Ⅱを実施
＜期日＞　令和６年１月１３日（土）
＜会場＞　市立浦和中学校・高等学校

※第１次選抜・第２次選抜とも受検者の自転車での来校はできません。

⑤第１次選抜合格発表（入学適性者の発表）

男・女各１００名程度　計２００名程度
＜期日＞　令和６年１月１７日（水）
＜場所＞　市立浦和中学校・高等学校

※第１次選抜合格者（入学適性者）の受検番号を掲示します。
※第１次選抜合格者は、事務室受付窓口に受検票を提示するとともに、第２次選抜受検届を提出し、必要書類を受領してください。

※第２次選抜受検届を提出

⑥第２次選抜

＜内容＞　適性検査Ⅲ・個人面接・集団面接
＜期日＞　令和６年１月２０日（土）
＜会場＞　市立浦和中学校・高等学校

※第１次選抜に合格し、第２次選抜受検届を提出した者に、第２次選抜を実施します。

⑦第２次選抜合格発表（入学許可候補者の発表）

男・女各４０名　計８０名
＜期日＞　令和６年１月２４日（水）
＜場所＞　市立浦和中学校・高等学校

※第２次選抜合格者（入学許可候補者）の受検番号を掲示します。
※第２次選抜合格者は、事務室受付窓口に受検票を提示し、入学許可候補者決定通知書等を受領してください。

⑧入学確認書の提出

＜期日＞　令和６年２月５日（月）
9:00～12:00, 13:00～15:00
＜場所＞　市立浦和中学校・高等学校　事務室

⑨繰り上げ入学許可候補者の手続き

第２次選抜受検者のうち、入学許可候補者とならなかった者の中から選抜し、繰り上げ合格者とします。（順位は公表しません。）

⑩入学予定者説明会

＜期日＞　令和６年３月２日（土）　9:00～11:00（予定）
＜会場＞　市立浦和中学校・高等学校

4　志願者の資格　※「令和６年度生徒募集要項」をご確認ください。

入学を志願することのできる者は、Ⅰ欄(1)から(4)のいずれかに該当し、かつ、Ⅱ欄(1)、(2)のいずれかに該当する者とします。Ⅰ欄(1)、かつ、Ⅱ欄(1)に該当する者は、志願資格の審査を必要としません。

Ⅰ欄	(1)志願する年度の３月に学校教育法で規定する小学校若しくはこれに準ずる学校、特別支援学校の小学部（以下「小学校」という。）を卒業する見込みの者、又は義務教育学校の前期課程を修了見込みの者。
	(2) 志願する年度の３月に文部科学大臣が小学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下「日本人学校」という。）の当該課程を修了する見込みの者。
	(3) 外国に所在する学校（現地校など）において、**別表１**の手続きにより、日本の６年の義務教育相当の教育を受けたと認められ、かつ、別にさいたま市立浦和中学校長（以下「中学校長」という。）が、さいたま市立浦和中学校生徒募集要項（以下「生徒募集要項」という。）で定める期間に出生した者。
	(4) 日本国内において、外国人学校の教育により、**別表１**の手続きにより、日本の６年の義務教育相当の教育を受けたと認められ、かつ、別に中学校長が生徒募集要項で定める期間に出生した者。
Ⅱ欄	(1) 出願時から保護者（本人に対して親権を行う者であって、原則として父母、親権を行う者がいない場合は未成年後見人をいう。以下同じ。）と同居している者で、さいたま市内に住所を有し、入学後卒業まで引き続きさいたま市内に居住し、かつ、卒業まで通学することが確実な者。
	(2) 住所がさいたま市外に存する者のうち、**別表２**の手続きにより、保護者とともに入学年度の４月１日までに、さいたま市内に転入することが確実と判断された者で、入学後卒業まで引き続きさいたま市内に居住し、かつ、通学することが確実な者。

志願資格の審査に必要な手続き（予定）

	別表１	別表２
	就学等状況に係る資格審査	転入等に係る資格審査
提出書類	(1)「志願資格審査申請書」１部 (2)「就学等状況報告書」１部	(1) 「志願資格審査申請書」１部 (2) 「転入に関する申立書」１部 (3) 転居を証明する書類　１部 ア 新たに市内に住居を持つ場合 当選通知書の写し（公共住宅への転居）、建築確認済書の写し（新築による家屋への転居）、契約書の写し（家屋の購入または家屋の賃貸による転居）、保護者の勤務先の長（社長・所長（支店長）・部長又は課長）が発行した新たな住居が記載された証明書（社宅への転居）のうち、該当するもの イ さいたま市内の保護者名義の家屋に一家転住する場合（過去にさいたま市内に居住していた者が、転勤等によりさいたま市外に転居し、再び、令和6年3月31日までに、父又は母とともにさいたま市内の自宅に戻る場合を含む） 家屋の登記事項証明書（申請日から3か月以内に発行された登記簿謄本。賃貸等を行っている場合には、令和6年3月31日までに明け渡される旨の証明書を添付する） ウ 既にさいたま市内に在住する親族等と同居する場合 親族等同意する個人の「住民票の写し」及び「同居同意書」（様式任意） エ 上記ア、イ、ウが提出できない場合 「転居を証明する書類に関する届」（様式12）１部
提出先 提出方法	さいたま市教育委員会学校教育部高校教育課窓口へ持参により提出する。原則として郵送での受付はしない。	
提出期間	令和５年 11 月 17 日(金)～12 月５日(火) （土日、祝日を除く 9:00～12:00，13:00～17:00）	
審査結果	志願資格審査の結果について、志願資格が承認された志願資格審査申請者には、「志願資格承認証」を交付します。	

5　提出書類

書　類	部　数	作　成　者
「入学願書」「受検票」	１部	志願者（またはその保護者）
「入学志願者調査書」　※開封無効	１部	志願者の出願時の在籍校の校長

※志願資格の事前審査により、「志願資格承認証」の交付を受けた者は、それを「入学願書」と一緒に必ず提出すること。

6　第１次選抜及び第２次選抜の概要

(1)出題の基本方針

問題から、事実・意図・意見・主題や構成を把握し、小学校で身に付けた基礎的・基本的な事柄を活用して考え、自分なりの考察、立場や意図を明確に示し、意図的、計画的、効果的に表現することができるかどうかを総合的に測ります。また、問題文の一部に英語を扱います。

(2)第１次選抜の概要

① 実施方法

すべての志願者に対して、適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱを実施します。

② 適性検査の時間

適性検査Ⅰ（45 分間）、適性検査Ⅱ（45 分間）

③ 適性検査のねらい

＜適性検査Ⅰ＞

・文章、資料を基に、課題を整理し、論理的に筋道を立てて考え解決する過程を、多様な方法で表現する力をみます。

・日頃から身近な課題に疑問をもち、その課題を分析し解決策を立て、この策を用いて課題解決に意欲的に取り組む態度が身に付いているかどうかをみます。

・社会的事象などを素材とした統計資料から情報を読み取り、適切に判断・表現する力をみます。

＜適性検査Ⅱ＞
・数理的な事象の分析力、論理的な思考力などが身に付いているかどうかをみます。
・身近な自然現象などを素材とした課題を科学的に理解し、系統的・合理的に説明する力をみます。
・数量や図形の意味を的確にとらえ、多面的にものを見たり考えたりする力をみます。

(3) 第２次選抜の概要

① 実施方法
第１次選抜に合格し、「第２次選抜受検届」を提出した者に対して適性検査Ⅲ（作文）及び面接を実施します。

② 適性検査Ⅲ（作文）の基本方針
＜実施時間及び分量＞
・45 分間で、複数の課題について、それぞれ 300 字程度でまとめます。
＜出題のねらい＞
・文章や資料などを読み取り、意図に従って文章にまとめることを通して、課題の解決に意欲的に取り組み、合理的に説明できる力をみます。

③ 面接の基本方針、実施時間、ねらい
＜個人面接＞
・１０分間程度で入学への意欲や目的意識、将来の夢などを受検生から聞き取り、本校の教育方針等に適性があるかの判断の資料とします。なお、個人面接の冒頭において、英語による自己紹介を位置付けます。
＜集団面接＞
・７人程度の集団で与えられた課題の解決に向けて話合いを行います 。
・他とコミュニケーションをとりながら、共通の課題を解決しようとする態度をみて、本校の教育方針等に適性があるかの判断の資料とします。

Memo

○浦和中学校出身（内進生）卒業生大学等合格実績

【国公立大学等】

（　）内は浪人合格者数

大学名	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
北海道大	1							1(1)		2(2)
小樽商科大				1						
岩手大									1	
東北大	2	3(1)	6(2)	2(1)	3(1)	2	1	1	2	1
山形大	1		1							
筑波大	1	3	2	1	8(3)	1	3(1)	1	1(1)	2
千葉大	2	1	5(1)	5	1	2	4	2		3(2)
東京大	5(1)	1	3	2(1)	4(2)	1(1)	3(1)	1	7(2)	3(1)
一橋大	2(1)	3(1)	2	3(1)		1	2		2	2
東京工業大	1	3	3	1(1)	2	2	1	2	2(1)	
東京医歯大	1		1	1		2(1)			1	
東京外国語大	2	1	2		2(2)	2	1	2	3	1
東京農工大	1	3(1)	1	2	1			2		1(1)
お茶の水女子大	1	2	1			1	2(1)		2(1)	
東京芸大						1				
東京学芸大		1(1)				1			2	1
電気通信大				2(2)			2(1)	1		
東京海洋大			1	1	2	2	1			
埼玉大	5	5	5	4	2	6(2)	2	1	3	5(1)
横浜国立大	1	1	1(1)	1	1	3	2(1)	3(1)	1	1
宇都宮大		1								
群馬大	1	1	1(1)	2(1)	1(1)	2(1)		1(1)		
新潟大			1(1)							
山梨大			1							
信州大			1		2(1)				1(1)	
静岡大								1		
浜松医科大学							1(1)			
富山大					1		1(1)			
金沢大		1								
滋賀大				1						
名古屋工大	2(1)									
大阪大				1	1				1	
京都大	1	2	1(1)			2	1			＊1(1)
京都工芸繊維大								1(1)		
奈良女子大		1				1				
広島大				1(1)						
山口大	1									
高知大						1(1)				
九州大					1					
長崎大			1(1)							
宮崎大			1(1)			1				
国際教養大			2			2		1		
東京都立大	1	1	4				2		2(1)	1
横浜市立大										1
大阪公立大	1									
埼玉県立大	1		2(1)			2(1)	1	1	2	
高崎経済大	1			2			1			
群馬県立女子大							1			
自治医大（医）				1						
気象大学校			1				1			
防衛医科大			2(1)	1		1	1(1)			
防衛大学校	1	1					1			1
国立看護大学校						1	1(1)			1

＊イギリス留学後、帰国生枠で合格

【私立大学】

（　）内は浪人合格者数

大学名	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
青山学院大	9	3	8(2)	7	2	1	6	7	1(1)	9
青山学院女子短期										
麻布大	2		2(1)				2(2)			
亜細亜大	2	1	1	2	1					2
跡見学園女子	3		1	1	2				2	1
大妻女子大			3				1		1	1
岡山理科大		1(1)								
学習院女子大		1	1	2					2	1
学習院大	2	3	8(2)	3	4(2)	2	5	5	5(2)	3(1)
神奈川大	1		1							2
金沢工大				1						
関西学院大						1	3		1(1)	
関西大		1								
神田外語大				2						1
関東学院大						1				
北里大	3	2(1)		3		1	2	3(3)		4(1)
近畿大		1(1)		1						
清泉女子大	2				1	1(1)		1	4	
共栄大	1					1				
共立女子大	1	1	3		4					
杏林大			1	6		1		1	2	
国立音大				1						
慶應義塾大	9(2)	9(1)	11(2)	8(4)	9(2)	8(4)	12(3)	10	12(4)	12(2)
工学院大	2	2(1)	1		2			1(1)		1
國學院大		2	5(3)	3	2	1		4	1	1
国際医療福祉大	1	1	1(1)	1			2(2)			
国際基督教大			1		1(1)	1		5(1)	3	
国士舘大				1		1	2(1)		1(1)	
駒澤女子大					1					
駒澤大	5	8	2	3	3(2)	1	2	7(2)	1(1)	2(1)
埼玉医大		2(1)	1	1				1(1)	1	
産業能率大				1						
実践女子大	1				1	1		1	1	1
芝浦工大	9	19(4)	20(2)	8	11(1)	4	7(2)	5(1)	6(5)	15(4)
十文字学園女子大		1	2		1				1	
淑徳大	1									
順天堂大			3(1)	2		1			1(1)	
城西大	1				2	3		2	1	
上智大	9	9	12	8(1)	8(1)	9(2)	10(1)	17	9(1)	7
昭和女子大	5	4	1	8	3(1)	2	9(1)	2	3	3(1)
昭和大				2(2)			3(2)	1(1)		
昭和薬大				1	1	1	1		1	
女子栄養大		1			1					
女子美大										
白百合女子大			1		2		1		1	
駿河台大					1(1)					
聖路加国際大			2		3(3)	1			1	
成蹊大	1	4(1)	3		2(1)	2(1)	3	1	2	4
成城大	2(2)	3	4(2)	2	4(2)		1	1	1	4
聖心女子大		1				1			1	2
専修大			8	2				4		2
大正大	3		1(1)		2(2)			2		
大東文化大	1	1	4(3)	2					1(1)	3(2)
拓殖大									1	
玉川大	1									
多摩美大	2		2							
千葉工大	10	2	3	1				4(4)		
中央大	10(2)	20(3)	16(2)	16(1)	28(16)	10(4)	21(4)	11	8(5)	10(4)
津田塾大	6	1	4	3	4(1)	4(2)	5	2	10(1)	2
帝京科学大										
帝京大	1	3	2	1		2		1(1)		

大学名	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
帝京平成大				1	1					
東海大				5		1		3		1
東京医療保健大				1					1	
東京家政大	1	2		7	11	2	4	2(1)	1	4
東京家政学院大				1						
東京経大	1									1
東京工科大	1				1	1	1(1)	1		
東京工芸大	1						2(2)			
東京国際大		2								
東京歯科大				2						
東京慈恵医大	1					1(1)				
東京純心女子大										
東京医大			1(1)							
東京女子医大									1	
東京女子大	2	6	12(1)	8	5(1)	3(2)	6(1)	8	6	3
東京成徳大					2					
東京電機大	2	6	5	1	1	2	1(1)	2(1)	2(1)	2
東京都市大	3				1(1)	1		2	1(1)	
東京農大	3	8	2	6	1	8	6	4		2
東京薬大		3		3	1	2	1(1)	1	1	
東京理科大	30	27(1)	19(4)	18(5)	24(2)	18(8)	15(4)	16(2)	11(8)	12(3)
同志社大	1	3					3		3(3)	1
桐朋学園大							1			
東邦大	1	2(1)	2(1)		1	1	2	1(1)		1
東洋大	9(2)	18	8	24(2)	12(7)	11(1)	7	8(1)	6	20(6)
東洋英和女学院大			1							
獨協医大								1(1)		
獨協大	1	5	3(1)	3	2(1)	2(1)	8(1)	2	10	7(2)
二松学舎大						1				
日赤看護大			2	1						
日赤豊田看護大					1					
日本薬大				1		1				
日本医大	1					1		1(1)		
日本獣医生命大	1						1(1)			
日本女子大	1	1	7(1)	9	9	4	5(1)	2	5	7
日本大	19	15	19(4)	9	6(4)	13(4)	16(3)	8(2)	5(1)	10
日本体育大	2									
フェリス女子大	1		1				1			
文教大	4	3	1	3	1	1	2	2	4(1)	5(1)
法政大	13(2)	22(2)	31(6)	14	8(3)	7	12(1)	20	8	15(1)
星薬大		2		3	2		2			
武蔵大	4(4)	2		3		3		1	2(1)	2(1)
武蔵野音大	1						1			
武蔵野大	3	3	4(1)	2	4	2		1(1)	1	1
武蔵野美大			5					1(1)		
明海大					1					
明治学院大	1	3	3	2	1	1		1	2	5(2)
明治大	34(6)	36(5)	34(3)	19(2)	19(6)	20(4)	17(7)	27(3)	23(3)	23(4)
明治薬大		5	6(1)	3	5(1)	3	1	1		
明星大					2					
目白大			1		3(1)		2			
ものつくり大					2					
山野美容芸術短大					1					
横浜薬大				1				1		
立教大	18	23	31	30(2)	18(6)	15(3)	11(1)	36(1)	16(3)	15(2)
立正大	2	1		1					1	3
立命館アジア大					1					
立命館大	1	1(1)	1		1(1)		1	1	1	2
早稲田大	29(2)	16	23(1)	22(6)	23(9)	18(3)	4(1)	21	15(5)	16(1)
モナシュ大学マレーシア校	1									

令和５年４月５日現在

過去の学校説明会での質問（Q&A）

質問事項		回答
学習指導	○学習が伸び悩んでいる生徒への指導はどのようにされていますか。	○数学、「グローバル・スタディ」は少人数指導及びTT授業を行うなどにより、丁寧に指導を行っています。また、個別で指導するとともに、夏期講習などにより対応しています。
	○宿題の量はどのくらいですか。	○各教科によって異なりますが、無理のない量の宿題を出しています。
	○家庭学習の取組をどのように指導されていますか。	○学習効果や成績は家庭学習時間とも大きく結び付いています。毎日、一定の時間を継続的に学習していくよう指導しています。
	○入学前までにＰＣの基本操作を身に付ける必要はありますか。	○ローマ字入力を基本としていますので、その学習ができていれば十分です。
	○中学・高校の授業に水泳はありますか。	○中学校では水泳の授業はありますが、高校では行っていません。
	○家庭科の体験学習とはどのようなことを行うのですか。	○調理実習、エプロン製作、保育園等での幼児触れ合い体験を実施しています。
	○貸与されるPCは、有料ですか。	○無償で３年間貸与しています。
	○英語の発音について、ネイティブの発音に近づけるようなトレーニングを行っていますか。	○グローバル・スタディ科教員、高校のネイティブ教員及びALTによるティームティーチングで、「グローバル・スタディ」の授業を行っています。
学級編制	○６年間のクラス編制について、教えてください。	○６年間、２クラスで活動し、毎年クラス編制をしています。
学校公開	○学校公開について教えてください。	○土曜公開授業など、学校公開日を設定しています。詳細は本校ホームページをご確認ください。
部活動	○部活動は全員が参加ですか。	○原則、全員加入です。
	○中高が合同で活動している部活動名を教えてください。	○陸上部、ハンドボール部、弓道部、剣道部、空手道部、吹奏楽部、書道部、美術部において高校の教員が指導し、合同で活動しています。
	○活動の曜日や時間、休日の活動について教えてください。	○平日は、原則放課後が活動の時間帯となります。土曜日、日曜日、祝日、長期休業日については、各部活動毎に異なります。
	○部活動の引率などは、保護者が行うのでしょうか。	○部活動や大会等によって異なりますが、場合によっては、ご協力いただくこともあります。
	○水泳の大会への参加はできますか。	○市及び県の大会へは、保護者引率での参加をお願いしております。また、引率の保護者には保険の加入が参加の条件となります。
	○学校外のクラブチームに入ることは可能でしょうか。	○クラブチームへの参加は可能ですが、部活動へは原則全員加入ですので、入学後にご相談ください。
	○部活動の土曜日・日曜日や長期休業中の活動時間、日数に制限はありますか。	○部活動の活動の制限については、「部活動に係る活動方針」に従っております。
学校生活	○携帯電話の持込はできますか。	○学区がさいたま市全域となっているため、緊急時のみの使用を条件に、保護者からの申請で許可しています。
	○いじめの対応策はどうなっていますか。	○生徒と教師による教育相談（二者面談等）を実施し、いつでも悩みなどを相談できる体制を整備しています。また、本校ホームページ掲載の「浦和中いじめ防止基本方針」をご参照ください。
	○地震等の災害時の対応はどうなっていますか。	○さいたま市「災害時における児童生徒の安全確保等の指針」に従い、避難、安全の確保のうち、震度５弱以上はすべての保護者への引渡しとしています。
	○自転車通学を認めていますか。	○生徒の安全を考え、原則として、自転車通学を認めておりません。ただし、学区がさいたま市全域と広範囲であるため、生徒の安全性を損なう恐れがある場合に限り、自転車通学を許可することがあります。
	○海外フィールドワークの費用はどのくらいですか。	○約３５万円程度です。また、燃油サーチャージ額、為替の変動等により変わる場合があります。

学校生活	○他の公立中学校との行事等の違いを教えてください。	○３年生での海外フィールドワーク、２年生での修学旅行、博物館実習、高校の教員による授業、年間 12 回の土曜授業、中高合同の文化祭や体育祭、大学や企業と連携したプログラムなどの特色があげられます。
	○メールなどの保護者との連絡方法はありますか。	○学年メール、学校ホームページや「さいたま市学校安心メール」等を使用しています。
入学者選抜	○調査書の内容はどのくらい合否に関係するのですか。	○当日の適性検査と、出願時に提出していただいた調査書の内容を、総合的に判断しています。
	○郵送では願書を受け付けてくれますか。	○生徒募集要項で確認してください。
	○自転車での来校は可能ですか。	○適性検査日以外は可能ですが、自転車置き場が狭いため、公共の交通機関の利用をお願いしています。
	○定員数を増やすことは考えていますか。	○定員はさいたま市教育委員会が定めています。
	○繰り上げ合格者数を教えてください。	○公表しておりません。
	○繰り上げ合格者への連絡は何日くらいまでに届くのでしょうか。	○生徒募集要項で確認してください。
	○中学在籍中で他市に転居した場合はどうなるのか。	○さいたま市に居住していることが原則となりますので、他市に転居した場合の在籍は認めておりません。
	○入学願書の代理提出は、可能ですか。	○可能です。
その他	○埼玉大学等、他の教育機関との連携はどうなっていますか。	○埼玉大学理工学部で行われる「科学者の芽」に希望者が参加したり、夏期講習において特別講座を実施したりするなど連携を行っております。
	○就学支援制度は利用できますか。	○入学後、学校にご相談ください。
	○個人の留学期間は、何日間まで可能ですか。	○本校は、留学の制度は設けておりません。
	○給食のアレルギー対応はしていますか。	○ご家庭と連携を取りながら、できる限りの除去食対応をしています。
	○ＰＴＡの役員はどのように決めていますか。	○希望によりＰＴＡの役員を決めております。現在２４０のご家庭のうち、３６人あまりの保護者が役員としてご活躍いただいています。

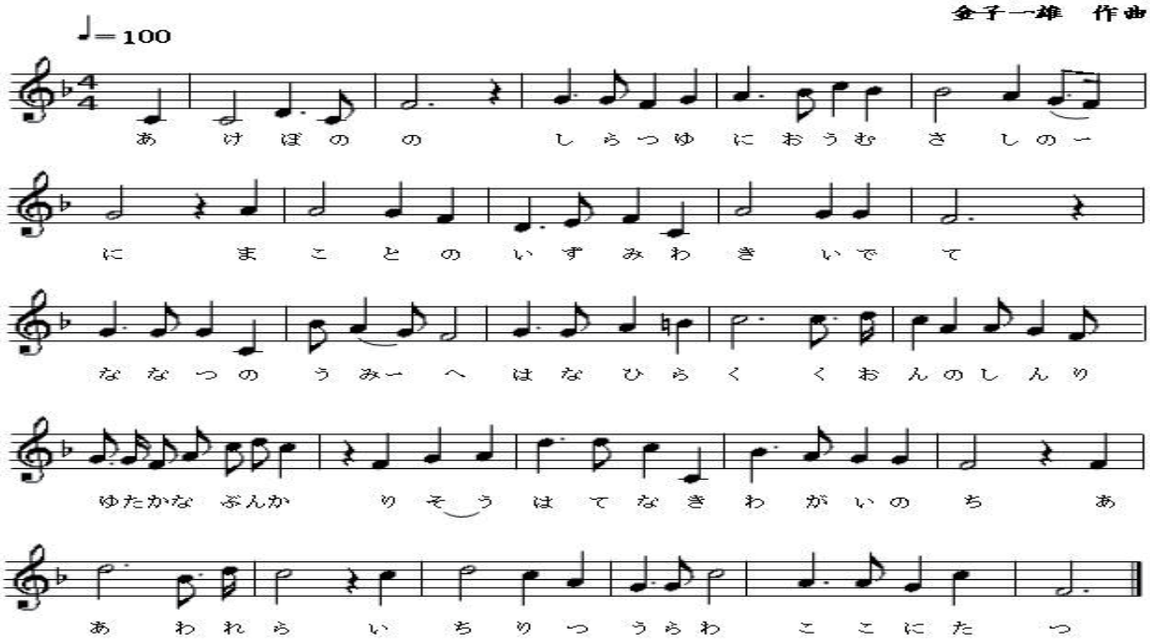
※さいたま市立浦和高等学校についての内容は、高校ホームページをご覧ください。

さいたま市立浦和高等学校　http://www.city-saitama.ed.jp/urawa-h/

Memo

さいたま市立浦和中学校・高等学校　校歌

吉沢光平　作詞
金子一雄　作曲



一、
曙の
白露匂う武蔵野に
まことの泉湧き出でて
七つの海へ花ひらく
久遠の真理ゆたかな文化
理想はてなきわが生命
ああわれら
市立浦和ここに立つ

二、
見はるかす
富士もさやかな青雲に
ひかりの翼はばたきて
世界の空を天翔ける
無限の恵みかがやく平和
希望あふるゝわが心
ああわれら
市立浦和高く立つ

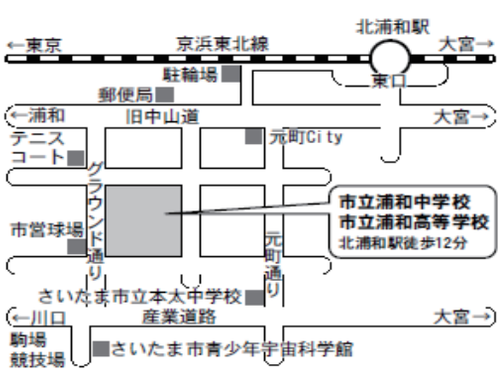
校章の由来

高校の校章は、昭和２５年４月、浦和市立高等学校と浦和市立女子高等学校が統合して現在の本校が誕生し、それを契機として、当時の生徒会の手により制作されました。図案は、生徒と学校関係者より募集し、全校生徒の投票により決定したものです。選ばれたのは昭和２５年卒の星野孝司さんの作品で「百合の花と書物を開いて上から見たところ」を図案化したものです。

中学校の校章は、高校の伝統校風を踏まえて、高校の校章をもとに高を中に変えて作られました。

併設型中高一貫教育校

さいたま市立浦和中学校



さいたま市立浦和中学校
〒330-0073 さいたま市浦和区元町 1-28-17
電 話　048-886-8008
FAX　048-886-8555
http://www.m-urawa.ed.jp

さいたま市立浦和高等学校
〒330-0073 さいたま市浦和区元町 1-28-17
電 話　048-886-2151
FAX　048-883-2029
https://www.urawashi-h.city-saitama.ed.jp